

平成29年度  
子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査  
～子どもと子育てに関する市民意識調査～

集計結果 報告書

佐世保市子ども未来部では子育て中の保護者の方を対象として、「子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査～子どもと子育てに関する市民意識調査～」を実施しました。

その内容としては

「2人目の壁（※）は実際に存在すると思いますか？」

「2人目以上のお子さんを持つことに対してのためらいは？」

「産休や育休を取るときに気になることは？」

このような質問項目を設け、妊娠、出産、子育てや仕事の両立などについて、市民の皆さんから率直なご意見をいただきました。

※「2人目の壁」とは、「必要となる生活費や教育費に関連した家計の見通しや、仕事等の環境、年齢等を考慮し、第2子以後の出産をためらうこと」です。

●調査概要

調査期間：平成29年8月25日（金）～ 9月22日（金）

調査方法：市ホームページでのWebアンケート

調査対象：市内在住で子育て中の保護者の方（20歳～49歳）

質問項目：31問

公益財団法人1more Baby応援団が全国的に実施した「夫婦の出産意識調査2017」（以下「全国調査」という。）と同じ質問項目を一部設け、佐世保市と全国の比較を行っています。

●回答者数：596人

回答者内訳	フルタイム勤務ママ	221人
	パートタイム勤務ママ	132人
	専業主婦ママ	122人
	働くパパ	101人
	専業主夫パパ	1人
	その他	19人

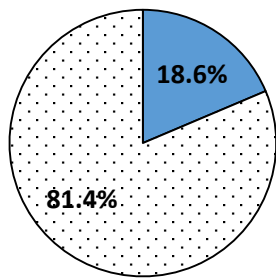
【目次】

●主な調査結果	… P 2
●全体の集計結果	… P 5
●その他の自由記載	… P 20

## 主な調査結果（全国調査との比較）

### ■ 佐世保市の合計特殊出生率が、全国や長崎県と比較して高いことを知っているか？

今回のアンケートでは、8割以上の方が佐世保市の合計特殊出生率が高いことを知りませんでした。



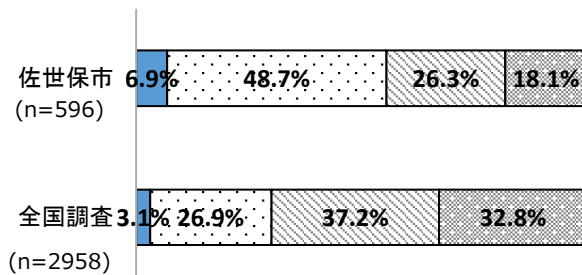
(n=596)  
 知っている  
 知らない

※合計特殊出生率とは、一人の女性が一生に産む子どもの平均数を表す指標です

### ■ 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？

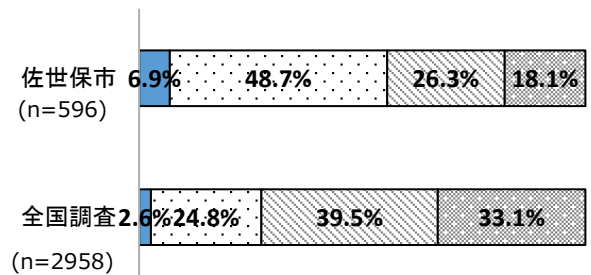
佐世保市はどちらも「近づいていると思う」が55.6%となっており、全国調査よりも「産みやすい」「育てやすい」街に近づいていると思う方が多いことがわかりました。

子どもを「産みやすい」街（国）に近づいていると思う



近づいていると思う  
 どちらかといえば、近づいていると思う  
 どちらかといえば、近づいていないと思う  
 近づいていないと思う

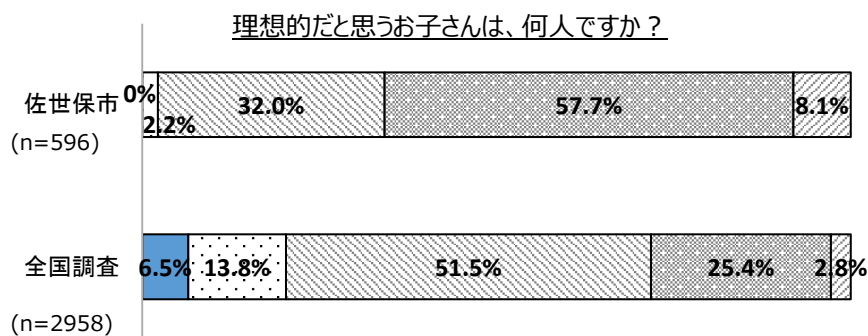
子どもを「育てやすい」街（国）に近づいていると思う



近づいていると思う  
 どちらかといえば、近づいていると思う  
 どちらかといえば、近づいていないと思う  
 近づいていないと思う

### ■ 理想の子どもの数は？

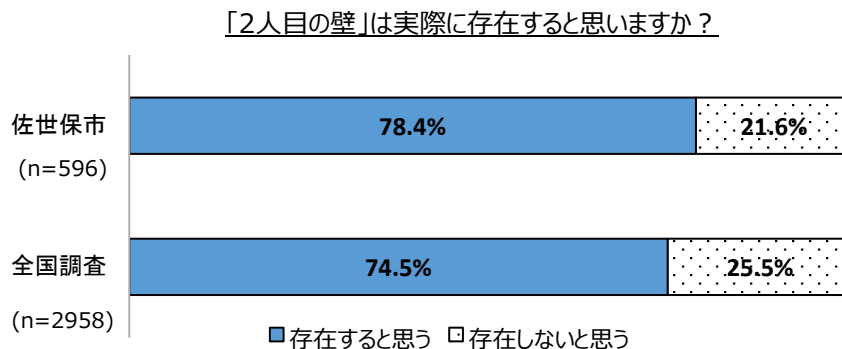
持ちたい理想の子どもの人数は、全国調査の「2人」に対し、佐世保市は「3人」が最も多く、また2人以上を希望する方の割合も全国調査の79.7%に対して佐世保市は97.8%と非常に高くなっており、より多くの子どもを望んでいることがわかりました。



子どもなし  1人  2人  3人  4人以上

## ■「2人目の壁」は存在するか？

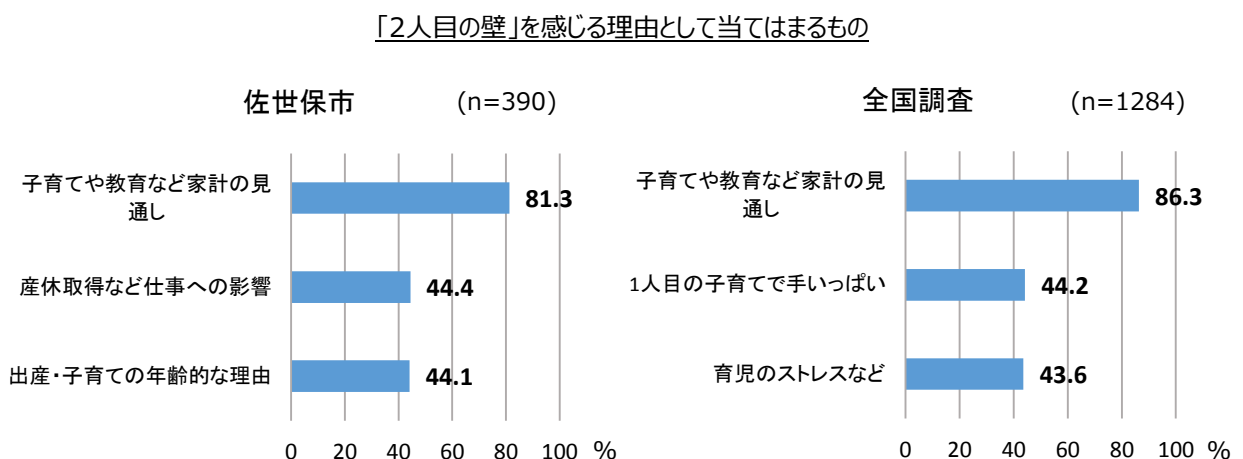
「2人目の壁」の存在については、佐世保市も全国調査も7割以上の方が「存在する」と回答しています。



## ■「2人目の壁」を感じる理由は？（上位3項目）

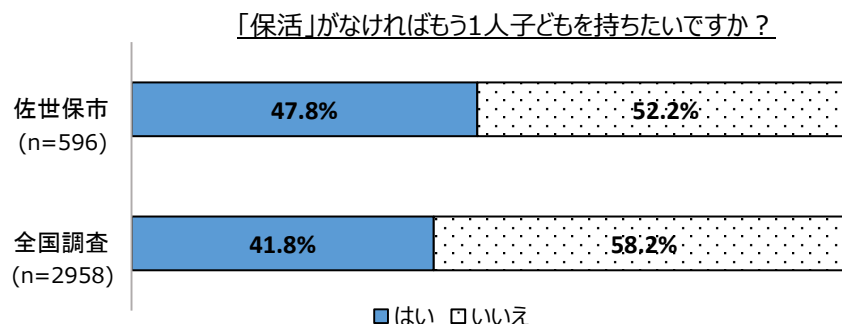
※全国調査の回答はママのみ。佐世保市はパパも含む。

「2人目の壁」を感じる理由については、「子育てや教育など家計の見通し」の回答が佐世保市と全国調査ともに8割以上と最も多く、その大きな違いとしては、「1人目の子育てで手いっぱい」が全国調査の44.2%に対して、佐世保市は17.8%と低くなっていることから、周囲のサポートが全国よりも充実しており、出生率の高さにつながっている可能性がうかがえます。



## ■「保活」がなければもう1人子どもを持ちたいか？

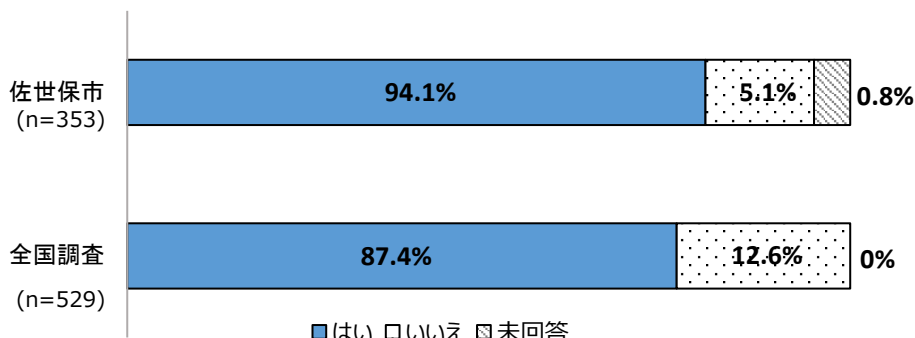
保育所に入所するための活動、いわゆる「保活」がなければもう1人子どもを持ちたいか」と尋ねたところ、佐世保市では「はい」と回答した方が47.8%と全国調査の41.8%より若干、高い傾向にあることがわかりました。



## ■ 制度と企業風土が整えば、働き続けたいか？

働くママに「妊娠や出産、子育てに関する制度や企業風土が整っていれば、働き続けたいか」と尋ねたところ、佐世保市では「はい」と答えた方が94.1%と全国調査の87.4%よりも高い傾向にあることがわかりました。

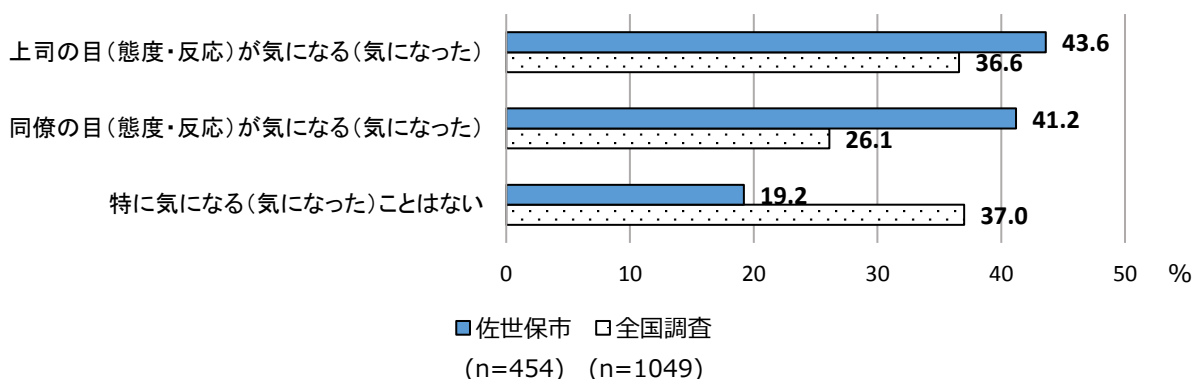
妊娠や出産、子育てに関する制度や企業風土が整っていれば、働き続けたいか



## ■ 産休・育休取得で気になることは？（上位3項目）

働くママとパパに「産休や育休を取得するにあたって気になること」を尋ねたところ、全国調査では「特に気になる（気になった）ことはない」が最も多かったが、佐世保市では「上司・同僚の目が気になる（気になった）」が多いことがわかりました。

あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）こと



## ■ 育休取得の理想の条件は？（上位3項目）

働くママとパパに「育休を取得する際に、重要だと感じる理想の条件」を尋ねたところ、上位3項目について佐世保市、全国調査ともに順位は異なるものの項目は同様であり、佐世保市においては、「保活の心配がいない」との回答が最も多いことがわかりました。

あなたが育休を取得する際に、重要だと感じる理想の条件

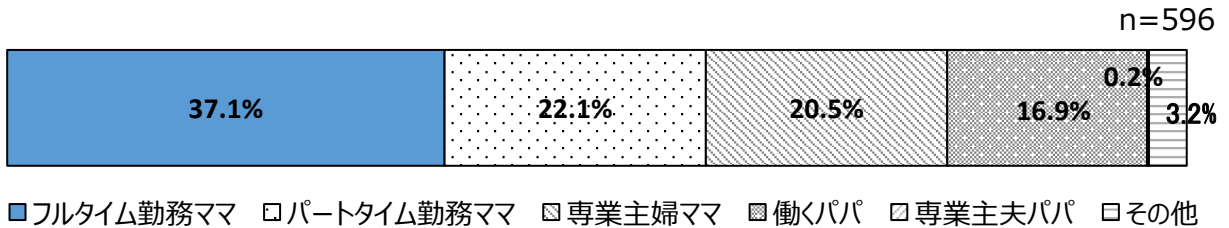
佐世保市 (n=454)			全国調査 (n=1049)		
1位	保活の心配がいない	50.7%	1位	育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない	36.0%
2位	育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない	46.3%	2位	育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない	33.7%
3位	育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない	45.2%	3位	保活の心配がいない	29.0%

## 全体の集計結果（単純集計）

### 問1 このアンケートには、どなたがお答えされていますか？

回答者の内訳は、「女性」79.7%、「男性」17.1%でした。

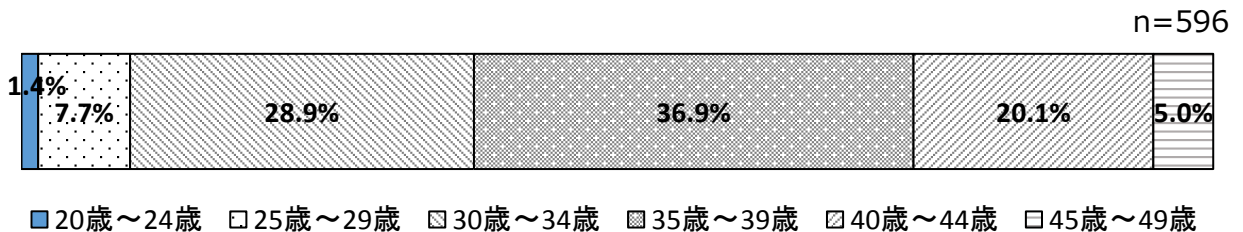
最も多かった回答者は「フルタイム勤務ママ」で37.1%、次に多かったのは「パートタイム勤務ママ」22.1%となっており、仕事をしているママの回答が多く、一方、働くパパの回答は16.9%でした。



### 問2 回答者の年齢を教えてください。

回答者の年齢で最も多かったのは「35歳～39歳」で36.9%でした。次に多かったのは「30歳～34歳」で28.9%となっており、30歳代の回答者が65.8%でした。

また、40歳代全体では25.1%であり、最も少なかったのは「20歳～24歳」で1.4%、20代歳全体でも9.1%でした。

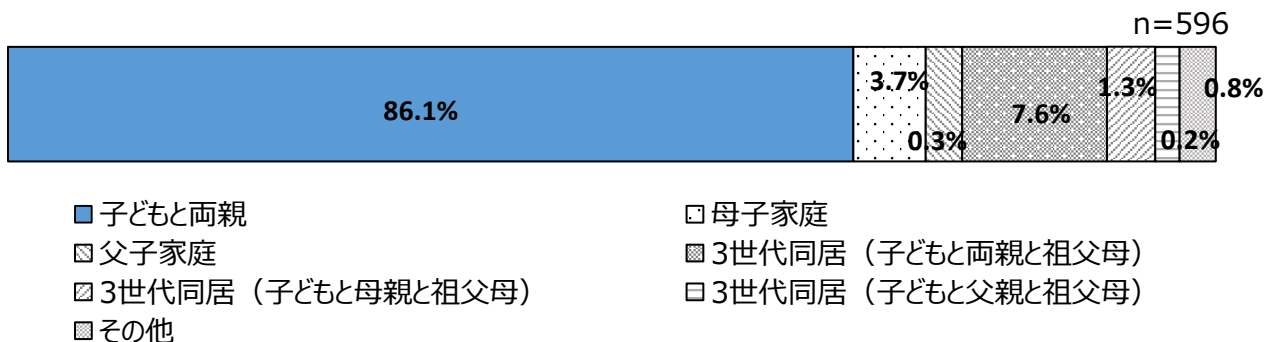


### 問3 家族構成を教えてください。

回答者の家族構成で最も多かったのは「子どもと両親」で86.1%とほとんどを占めました。

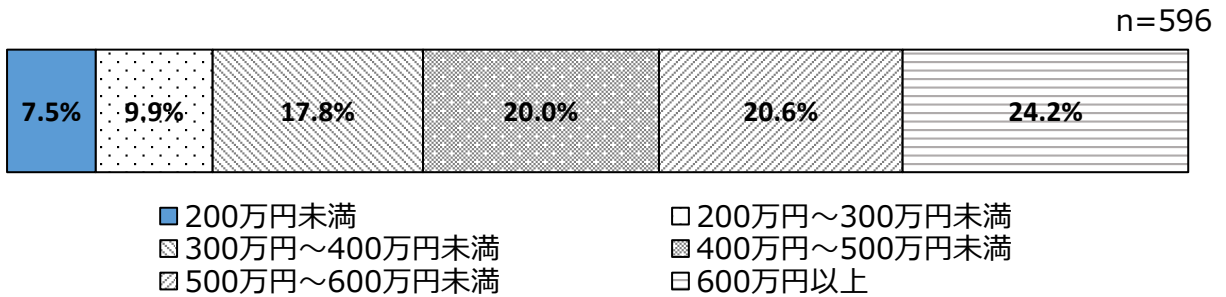
次に多かったのは「3世代同居（子どもと両親と祖父母）」で7.6%、3世代同居全体で9.1%と約1割でした。

「母子家庭」又は「父子家庭」のひとり親家庭は、あわせて4.0%でした。



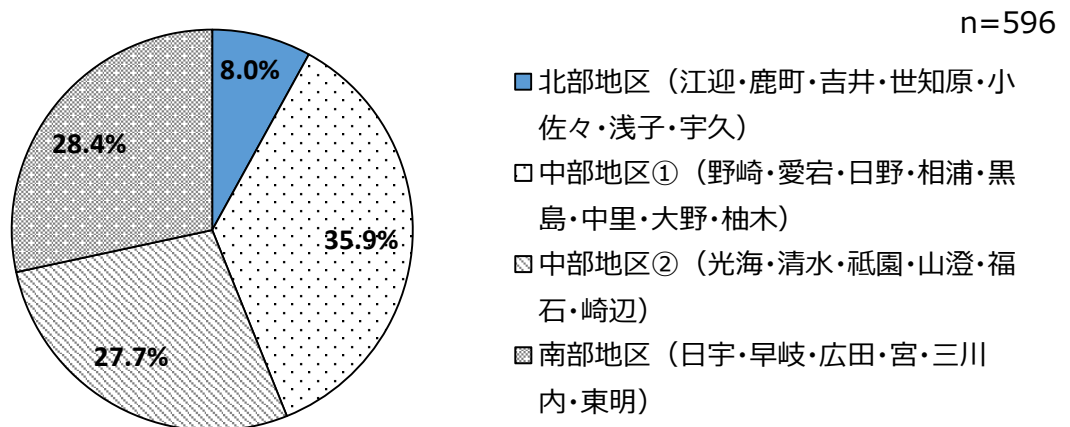
**問4 平成28年中（1月～12月）の世帯の合計収入をお答えください。**

世帯の合計収入で最も多かったのは「600万円以上」で24.2%でした。次いで「500万円～600万円」が20.6%、「400万円～500万円」が20.0%となっており、「400万円以上」が約65%でした。



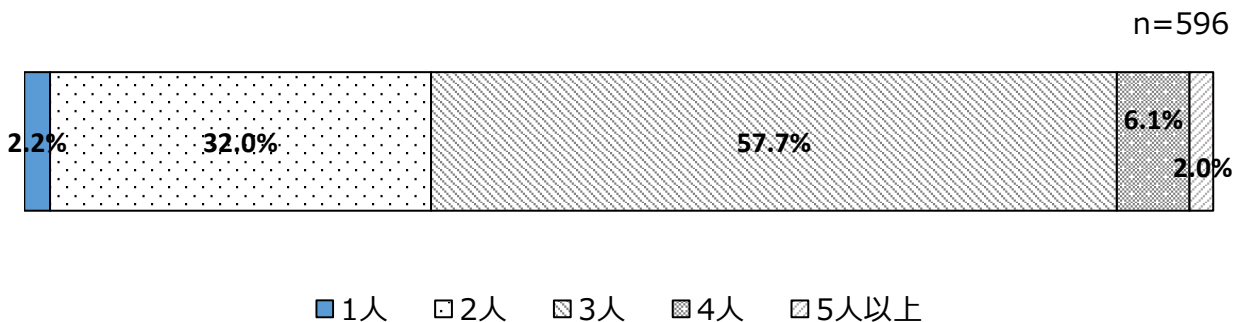
**問5 佐世保市のどの地区（概ね中学校区）にお住まいですか？**

回答者の居住地区は、「中部地区①」が35.9%と最も多く、「中部地区②」が27.7%、「南部地区」が28.4%と同程度でした。一方で「北部地区」が最も少なく8.0%でした。



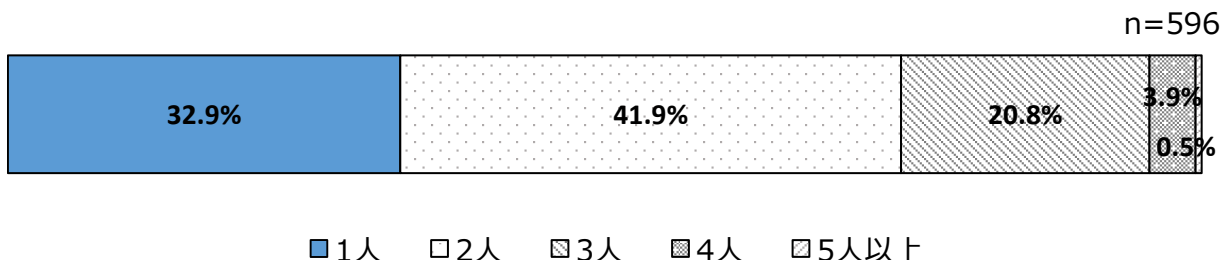
**問6 理想的だと思うお子さんは、何人ですか？**

理想の子ども数で最も多かったのは「3人」で57.7%でした。次に多かったのは「2人」で32.0%でした。



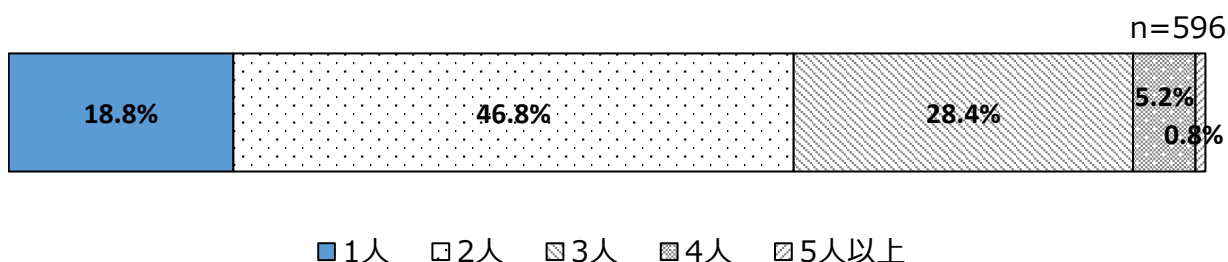
**問7 お子さんは、現在、何人ですか？**

現在の子ども数で最も多かったのは「2人」で41.9%、次いで「1人」が32.9%、「3人」が20.8%でした。1人から3人の合計が95.6%となり、全体のほとんどを占めました。



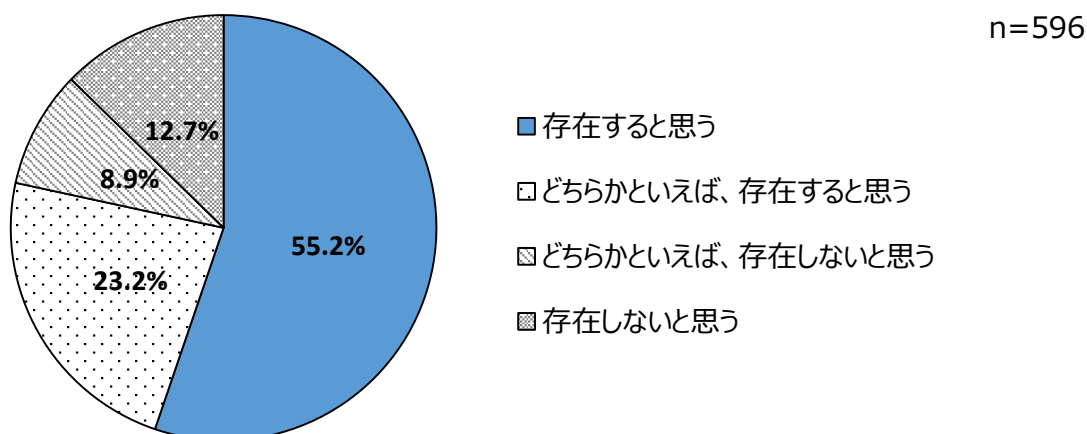
**問8 実際に持つ（予定の）お子さんの数は何人ですか？**

実際に持つ（予定の）子ども数で最も多かったのは「2人」で46.8%でした。次に多かったのは「3人」で28.4%でした。



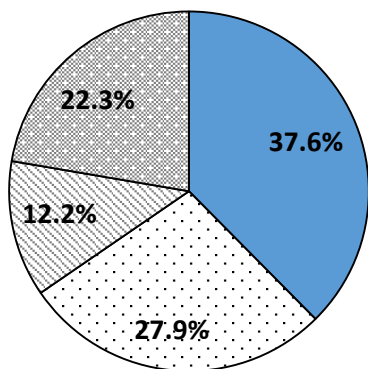
**問9 様々な理由により、2人目以上のお子さんを持つことをためらってしまう「2人目の壁」という考え方がありますが、あなた自身のご家庭を考えた時に、「2人目の壁」は実際に存在すると思いますか？**

「2人目の壁」が存在すると思うかについて、最も多かったのは「存在すると思う」で55.2%でした。「どちらかといえば、存在すると思う」を含む「2人目の壁」が存在すると思う割合は78.4%でした。「存在しないと思う」「どちらかといえば、存在しないと思う」合計の割合は21.6%でした。



**問10 あなたのご家庭では、特に2人目以上のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じますか（感じましたか）、あるいは、今後感じそうですか？**

2人目以上の子どもを持つことへのためらいで、最も多かったのは「ためらいを感じる（感じた）、あるいは、感じそう」で37.6%であり、「ややためらいを感じる（感じた）、あるいは、やや感じそう」を含めると、その割合は65.5%でした。



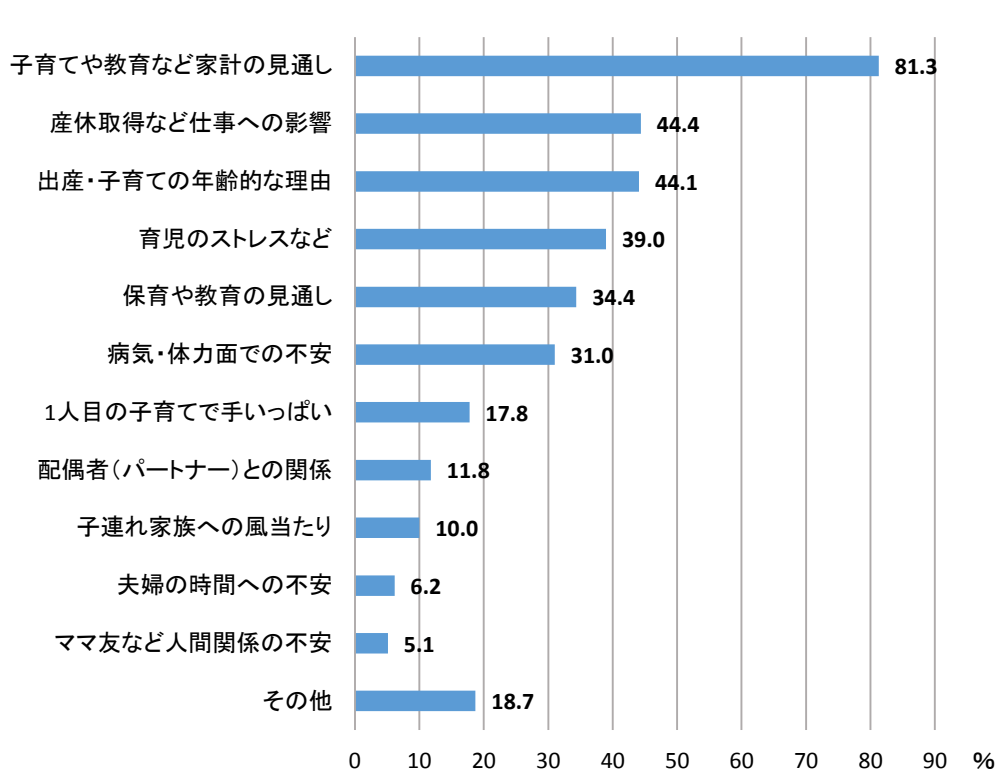
- n=596
- ためらいを感じる（感じた）、あるいは、感じそう
  - ややためらいを感じる（感じた）、あるいは、やや感じそう
  - ▨ あまりためらいを感じない（感じなかった）、あるいは、あまり感じなさそう
  - ▩ ためらいを感じない（感じなかった）、あるいは、感じなさそう

**問11 「2人目の壁」を感じる理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。**

（※あてはまるもの全て）

問10で「ためらいを感じる～」または「ややためらいを感じる～」を選んだ方にお尋ねします。

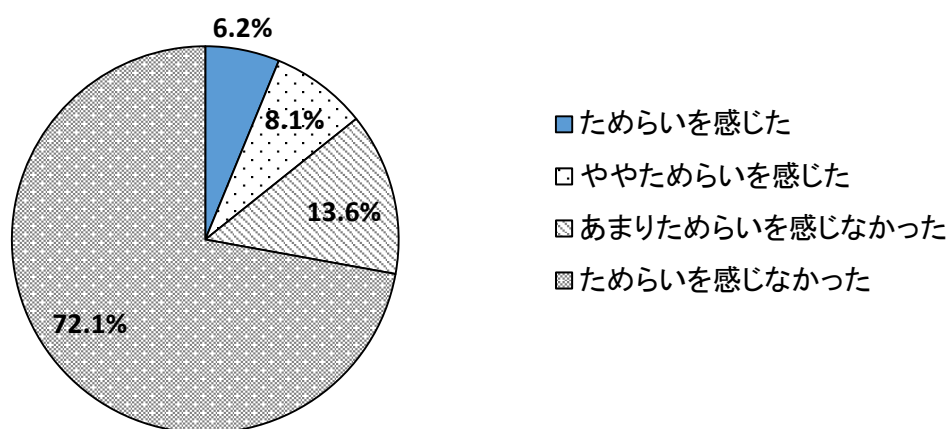
「2人目の壁」を感じる理由として最も多かったのは「子育てや教育など家計の見通し」で81.3%でした。次いで「産休取得など仕事への影響」44.4%、「出産・子育ての年齢的な理由」44.1%となっており、経済的理由、仕事と子育ての両立、年齢といった要素が主な理由となっていました。





**問12 同様に、1人目のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じましたか。**

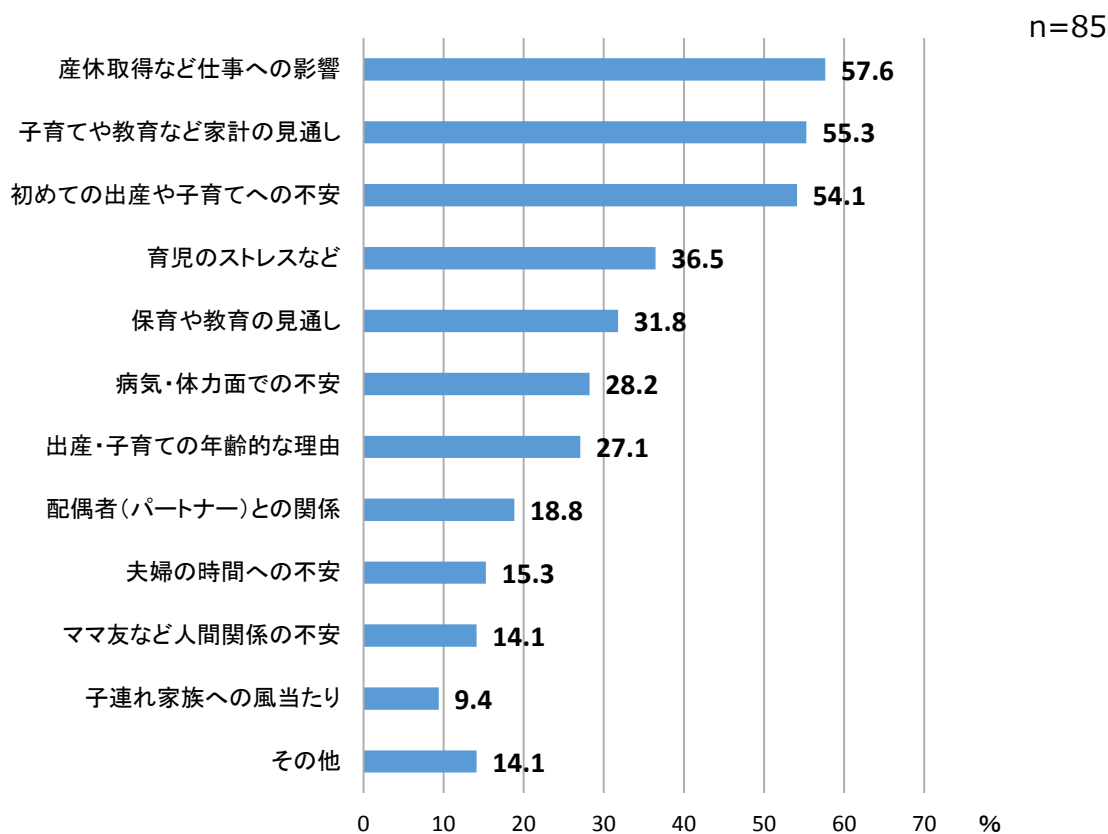
1人目へのためらいについては、72.1%が「ためらいを感じなかった」と回答しており、2人目以上の子どもを持つことへのためらいと比較して、ためらいの意識は低いことがわかりました。



**問13 1人目のお子さんを持つことにためらいを感じる理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。（※あてはまるもの全て）**

問12で「ためらいを感じた」「ややためらいを感じた」を選んだ方にお尋ねします。

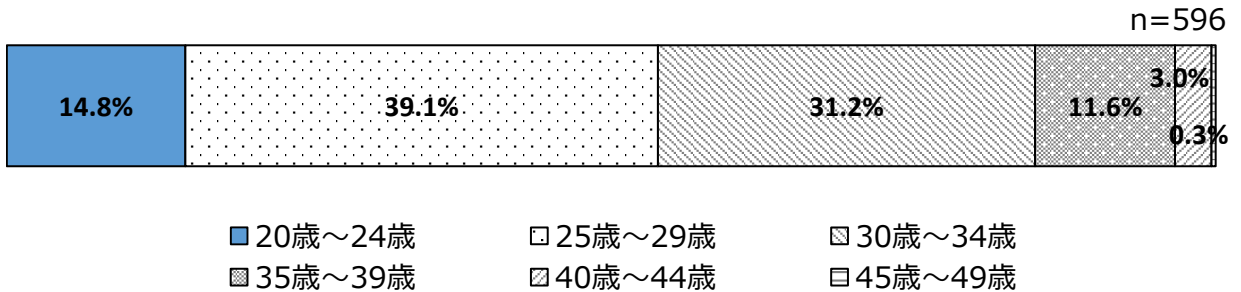
1人目へのためらいの理由として最も多かったのは「産休取得など仕事への影響」で57.6%でした。次いで「子育てや教育など家計の見通し」55.3%、「初めての出産や子育てへの不安」54.1%となっており、仕事と子育ての両立、経済的理由とともに、初めての子どもを持つことに対する不安が多分に起因していることがわかりました。



**問14 1人目のお子さんを出産された年齢をお答えください**

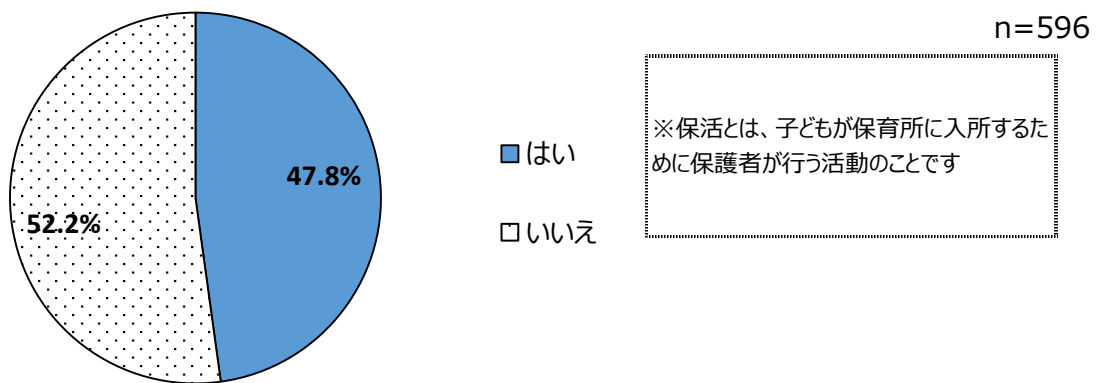
1人目の出産年齢で最も多かったのは「25歳～29歳」で39.1%でした。次に多かったのは「30歳～34歳」で31.2%となっており、25歳～34歳で約70%を占めました。

また、30歳以上が46.1%であることから、佐世保市においても、出産の高齢化が進んでいることがうかがえます。



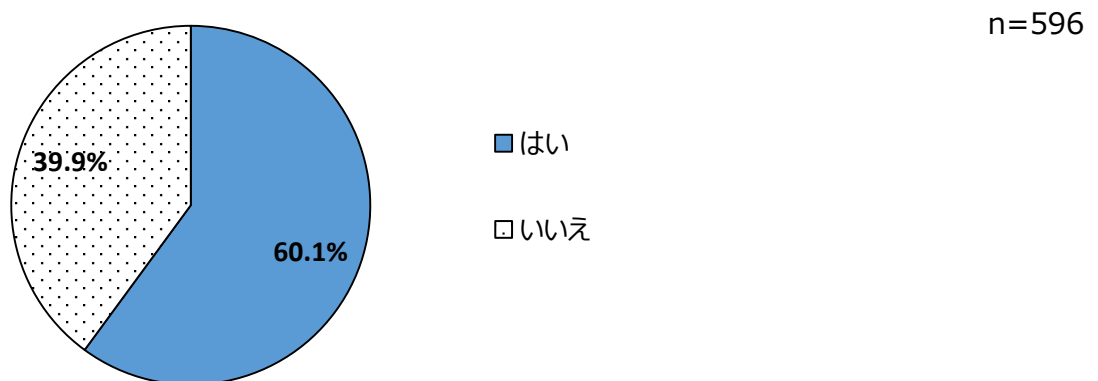
**問15 「保活」がなければもう1人子どもを持ちたいですか？**

「保活」がなければもう1人子どもを持ちたいか」については、「はい」の回答が47.8%でした。



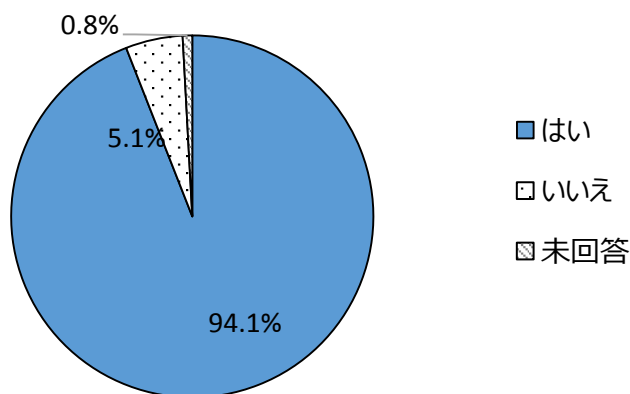
**問16 子育て期間の働く時間（短時間勤務等）や場所（テレワーク・在宅勤務等）を自由に選ぶことができれば、もう1人子どもを持ちたいですか？**

「働く時間や場所を自由に選べれば、もう1人子どもを持ちたいか？」については、「はい」の回答が60.1%でした。



**問17 妊娠や出産、子育てに関する制度と企業風土が整っていれば、働き続けたいですか？**  
フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママにお尋ねします。

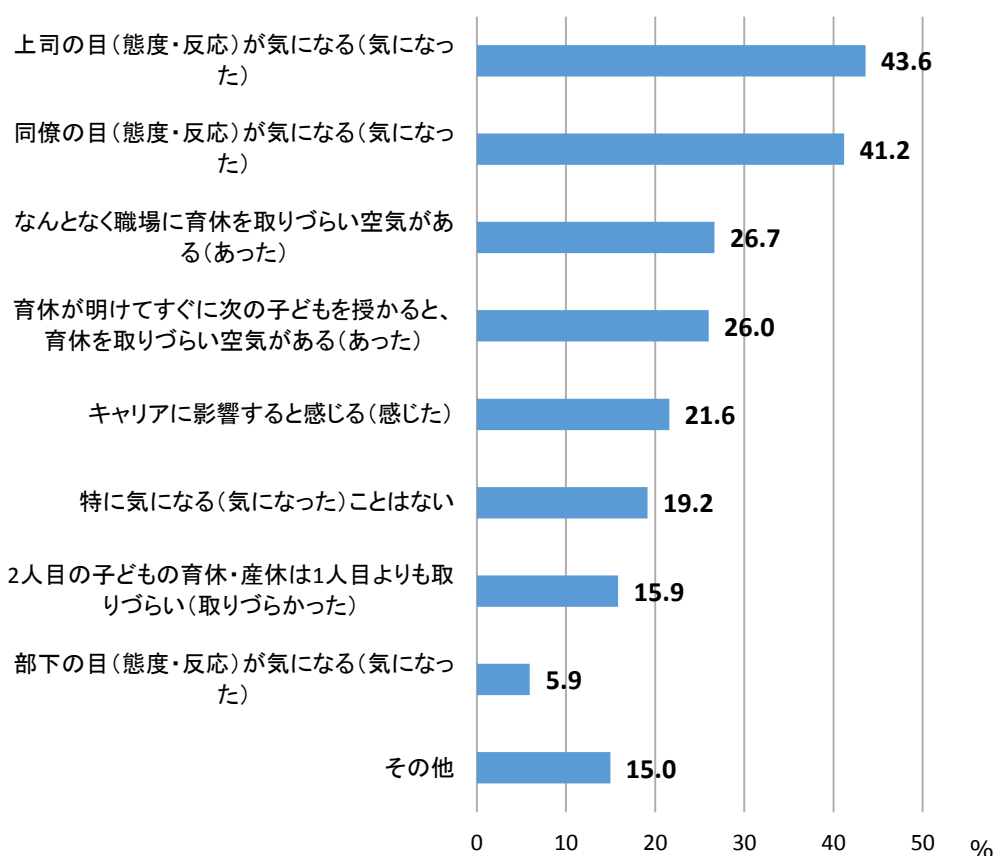
働くママが「制度と企業風土が整えば、働き続けたいか？」については、「はい」の回答が94.1%でした。



n=353

**問18 あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）ことを次の中から選んでください。**  
（※当てはまるもの全て）フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。

「産休や育休の取得で気になる（気になった）こと」について、最も多かったのは「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」で43.6%でした。次に多かったのは「同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）」で41.2%でした。産休や育休を取る場合には、特に職場の上司や同僚の目が気になる（気になった）傾向があることがわかりました。



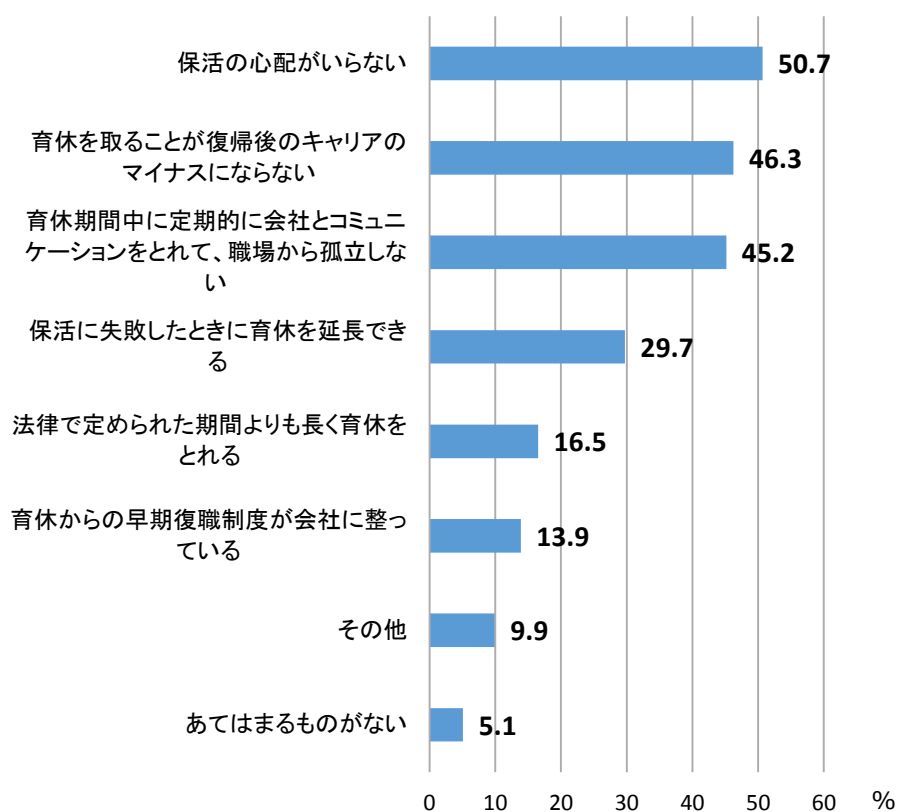
n=454

**問19 あなたが育休を取得するときに、重要だと感じる理想の条件を次の中から選んでください。  
(3こまで) フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。**

「育休を取るときに重要だと感じる理想の条件」の上位3項目は、「保活の心配がいらぬ」50.7%、「育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない」46.3%、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」45.2%でした。

育休を取る際には、子どもを預ける不安がないことや、職場においてのキャリアや距離感について重要だと考えていることがわかりました。

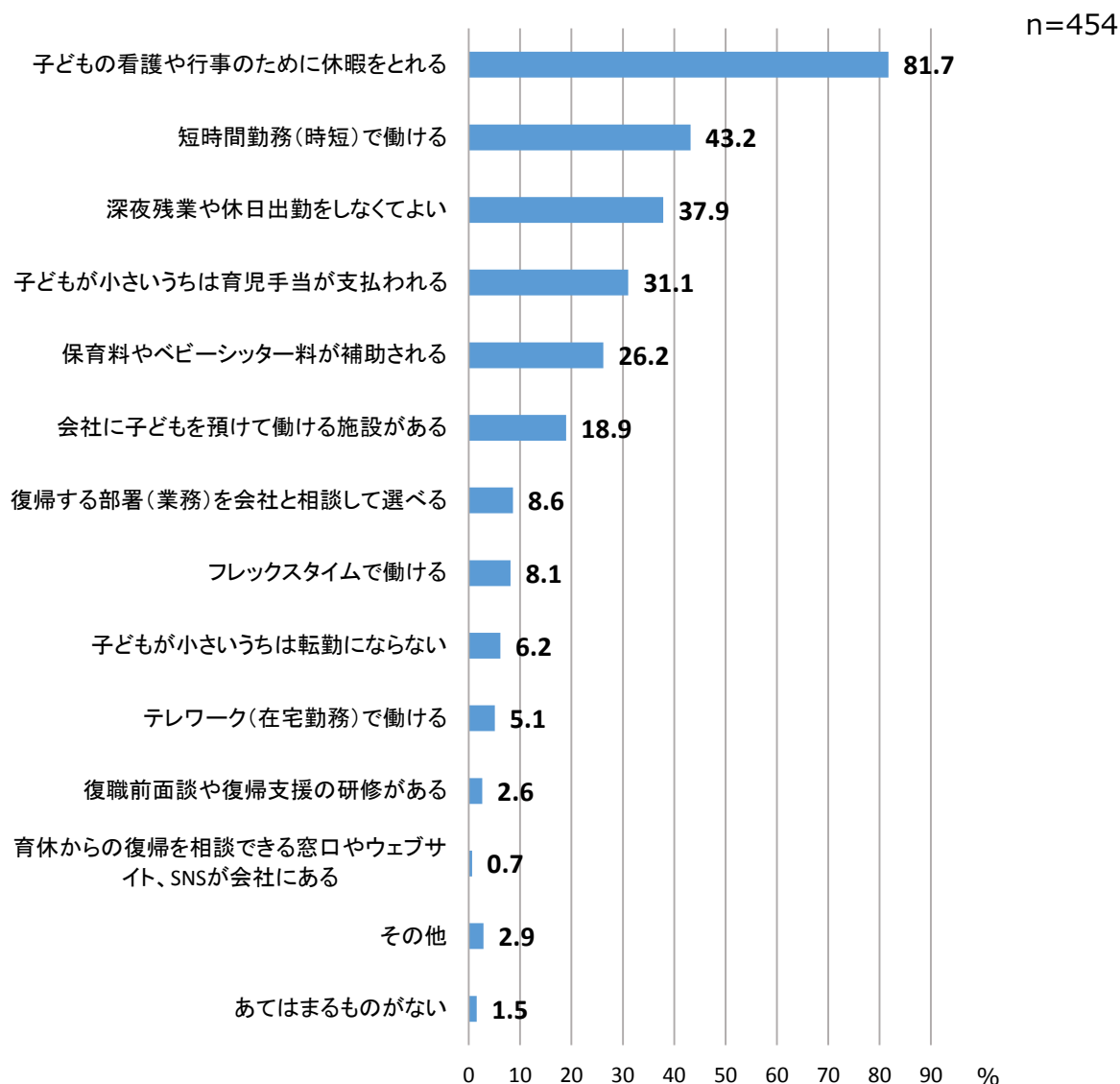
n=454



**問20 あなたが育休から復帰する際や復帰した後に、重要だと感じる理想の条件を次のなかから選んでください。（3こまで）フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。**

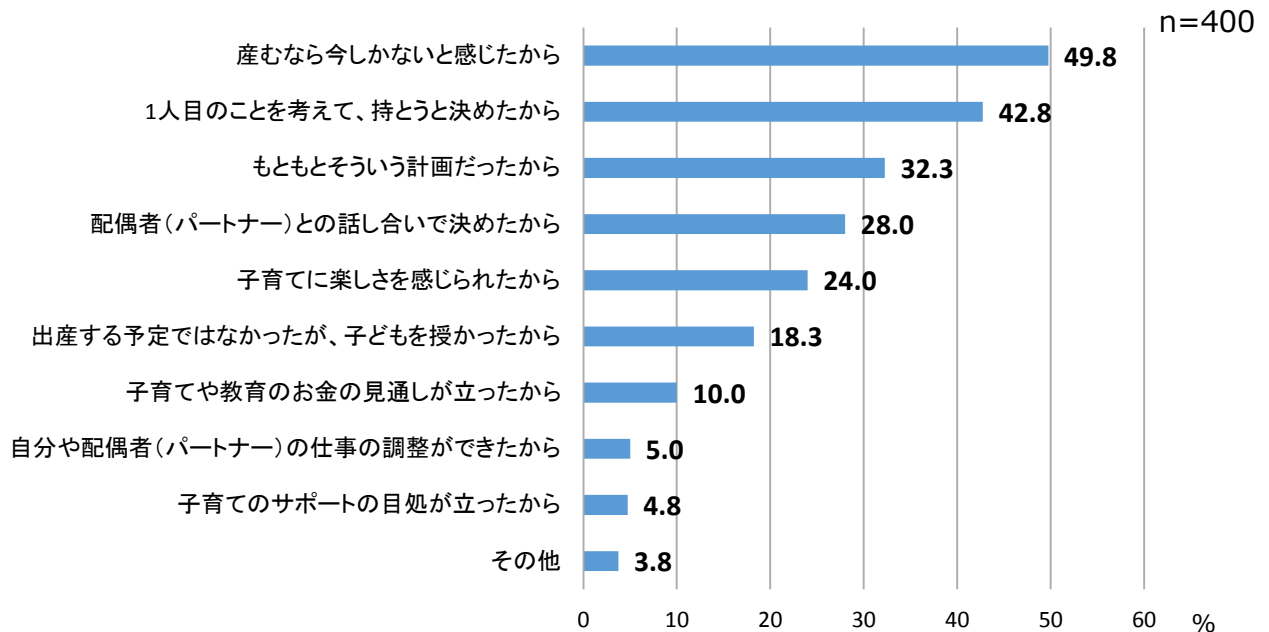
「育休から復帰する際や復帰した後に重要だと感じる理想の条件」の上位3項目は、「子どもの看護や行事のために休暇を取れる」81.7%、「短時間勤務（時短）で働ける」43.2%、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」37.9%でした。

育休から復帰した後は、子どものための休暇や育児のための時間が確保できることが重要だと考えていることがわかりました。



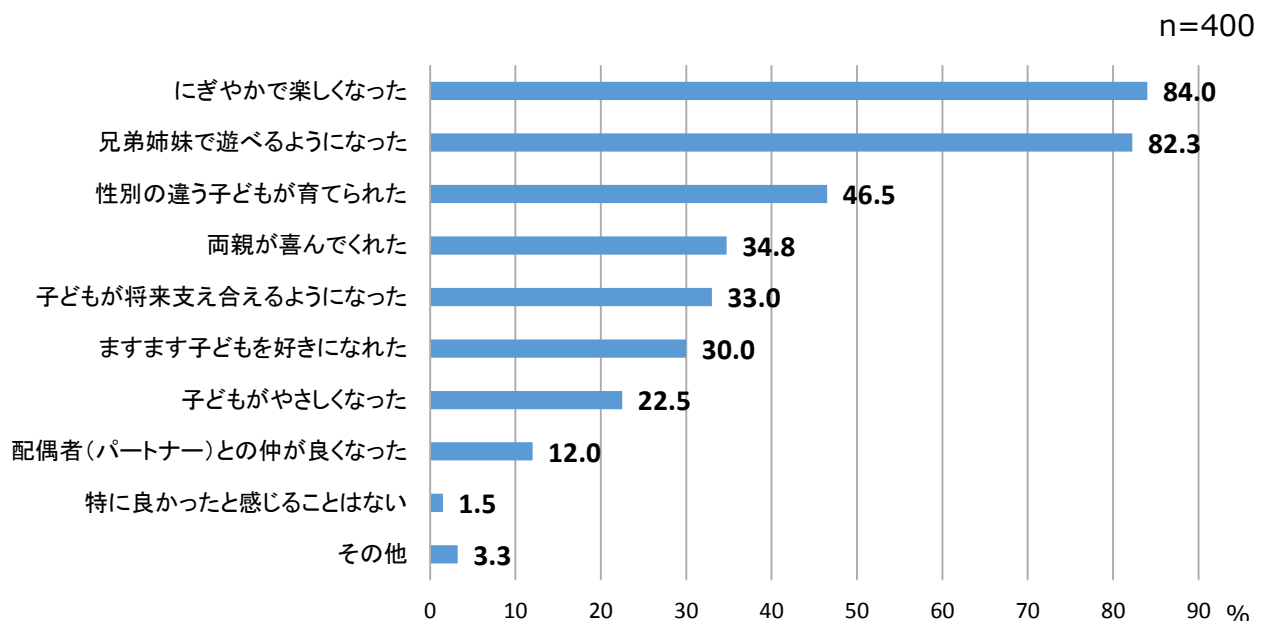
**問21 2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけについて、理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。（※あてはまるもの全て） お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。**

「2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけ」について最も多かったのは、「産むなら今しかないと感じたから」で49.8%でした。次いで「1人目のことを考えて、持とうと決めたから」が42.8%、「もともとそういう計画だったから」が32.3%、「配偶者（パートナー）との話し合いで決めたから」が28.0%でした。



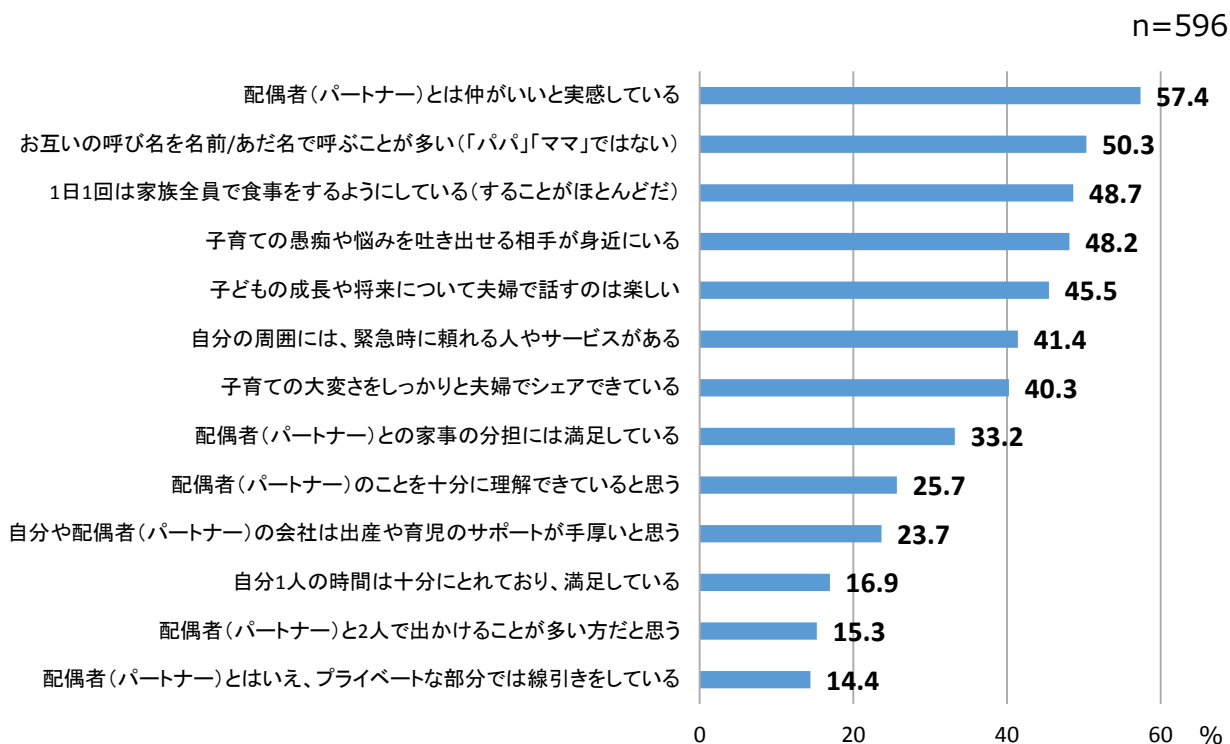
**問22 2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思うことは何ですか？（※あてはまるもの全て） お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。**

「2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思うこと」については、「にぎやかで楽しかった」が84.0%、「兄弟姉妹で遊べるようになった」が82.3%と上位2項目が80%以上でした。「性別の違う子どもを育てられた」も46.5%と多くの方が回答しています。「特に良かったと感じることはない」が1.5%しかないことから、大多数の方は子どもが多くなって良かったと感じていることがわかりました。



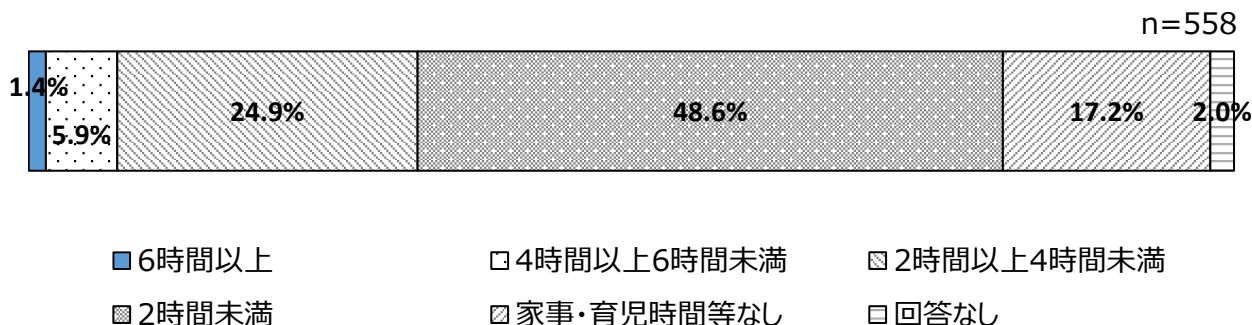
**問23 子育てに関連して、次のうち、あてはまるものをすべて選んでください。**

「子育てに関連するもの」については、「配偶者（パートナー）とは仲がいいと実感している」57.4%、「お互いの呼び名を名前/あだ名で呼ぶことが多い」50.3%が上位となっており、子育てにおいて夫婦関係を大切にしていることがうかがえます。また、「子育ての愚痴や悩みを吐き出せる相手が身近にいる」が48.2%、「自分の周囲には、緊急時に頼れる人やサービスがある」が41.4%と多いことから、周囲のサポートが重要であることがわかりました。



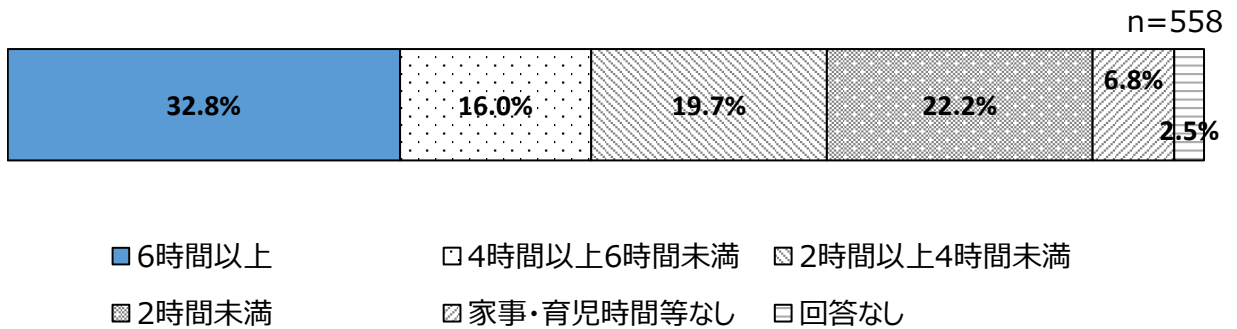
**問24-1 あなたの家庭で、パパは家事や育児、子どもの世話に1日何時間くらい費やしていますか（平日）  
家族構成が「子どもと両親」または「3世代同居（子どもと両親と祖父母）」の方にお尋ねします。**

「平日におけるパパの家事や育児の時間」については、「2時間未満」が48.6%と最も多く、また「家事・育児時間なし」も17.2%となっており、平日でもあることから、パパが仕事で家庭での時間があまり取れない状況があることがうかがえます。一方で、32.2%の方が2時間以上と答えていることから、家事や育児に協力的なパパの存在も見受けられます。



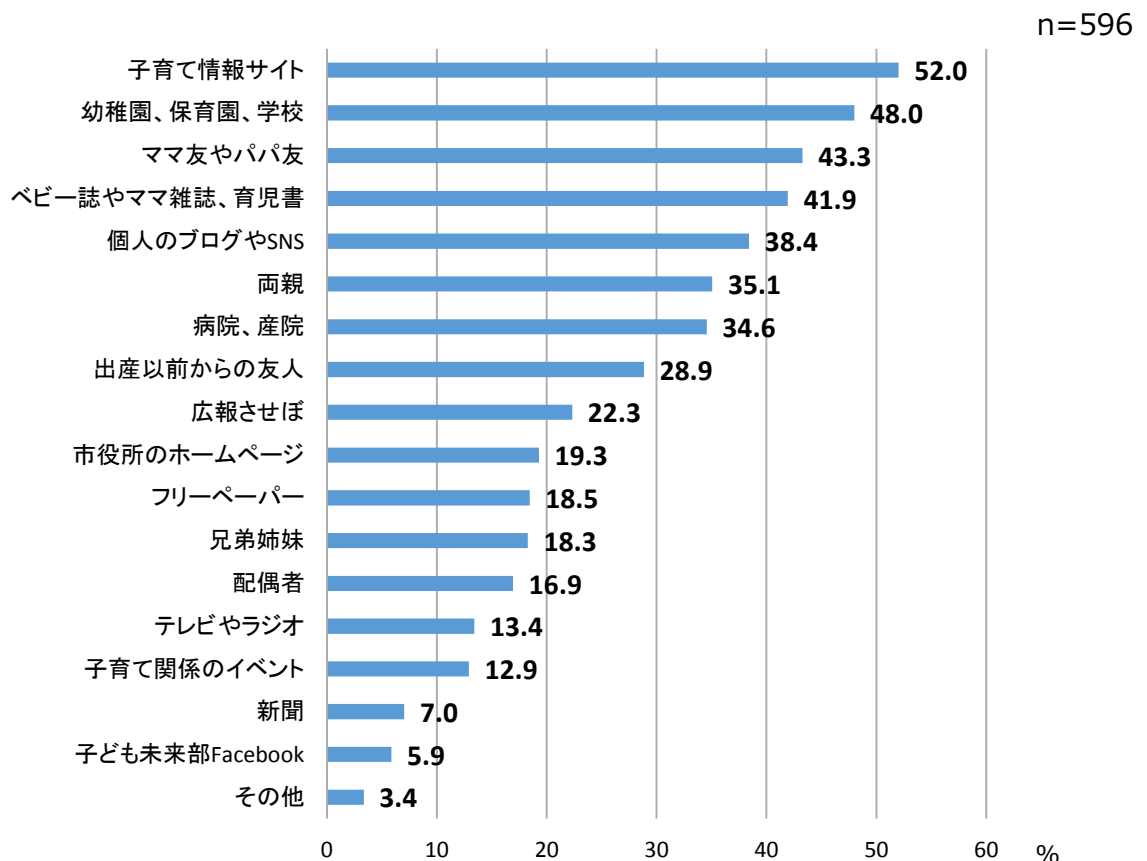
**問24-2 あなたの家庭で、パパは家事や育児、子どもの世話を1日何時間くらい費やしていますか（休日）  
家族構成が「子どもと両親」または「3世代同居（子どもと両親と祖父母）」の方にお尋ねします。**

「休日におけるパパの家事や育児の時間」については、「6時間以上」が32.8%と最も多く、5割近い方が4時間以上と回答しています。また、「家事・育児時間等なし」が6.8%と平日に比べて大きく減少しており、休日における家事や育児について、パパの協力的な対応がうかがえます。



**問25 出産・育児について情報を知りたいときに頼りにしている（頼りになった）ものすべてを、次の中から選んでください。（※当てはまるものすべて）**

「頼りにしている情報」で最も多かったのは、「子育て情報サイト」で52.0%でした。「個人のブログやSNS」も38.4%と多いことから、スマートフォンの普及もあり、多くの方がインターネットを通じ情報を得ていることがわかりました。一方で、「幼稚園、保育園、学校」が48.0%、「ママ友やパパ友」が43.3%と多いことから、身近なところからの情報も頼りにしていることがうかがえます。

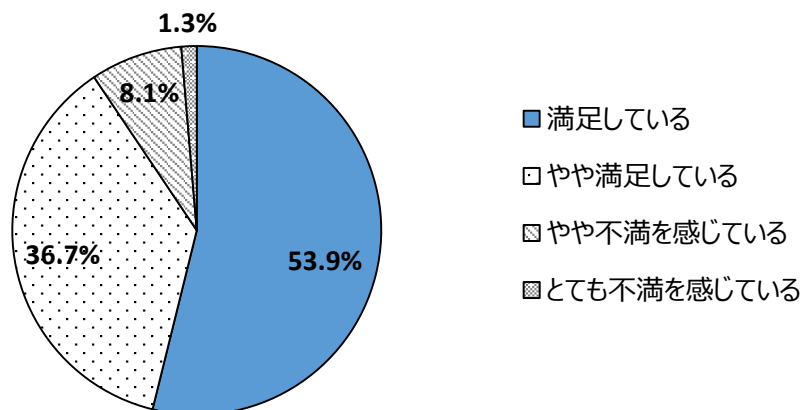




**問27 今、子育てをしていることに対する満足感はどうですか？**

「子育ての満足感」については、「満足している」が53.9%、「やや満足している」が36.7%となっており、9割以上の方が満足感を得ていることがわかりました。

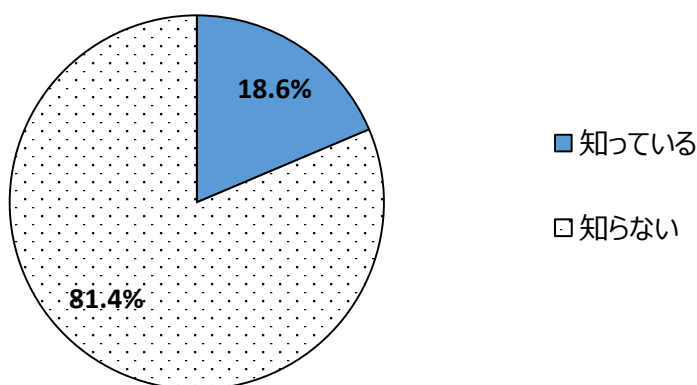
n=596



**問28 佐世保市は、合計特殊出生率が1.72と全国（1.45）や長崎県（1.67）と比較して高い状況にありますが、そのことを知っていますか？**

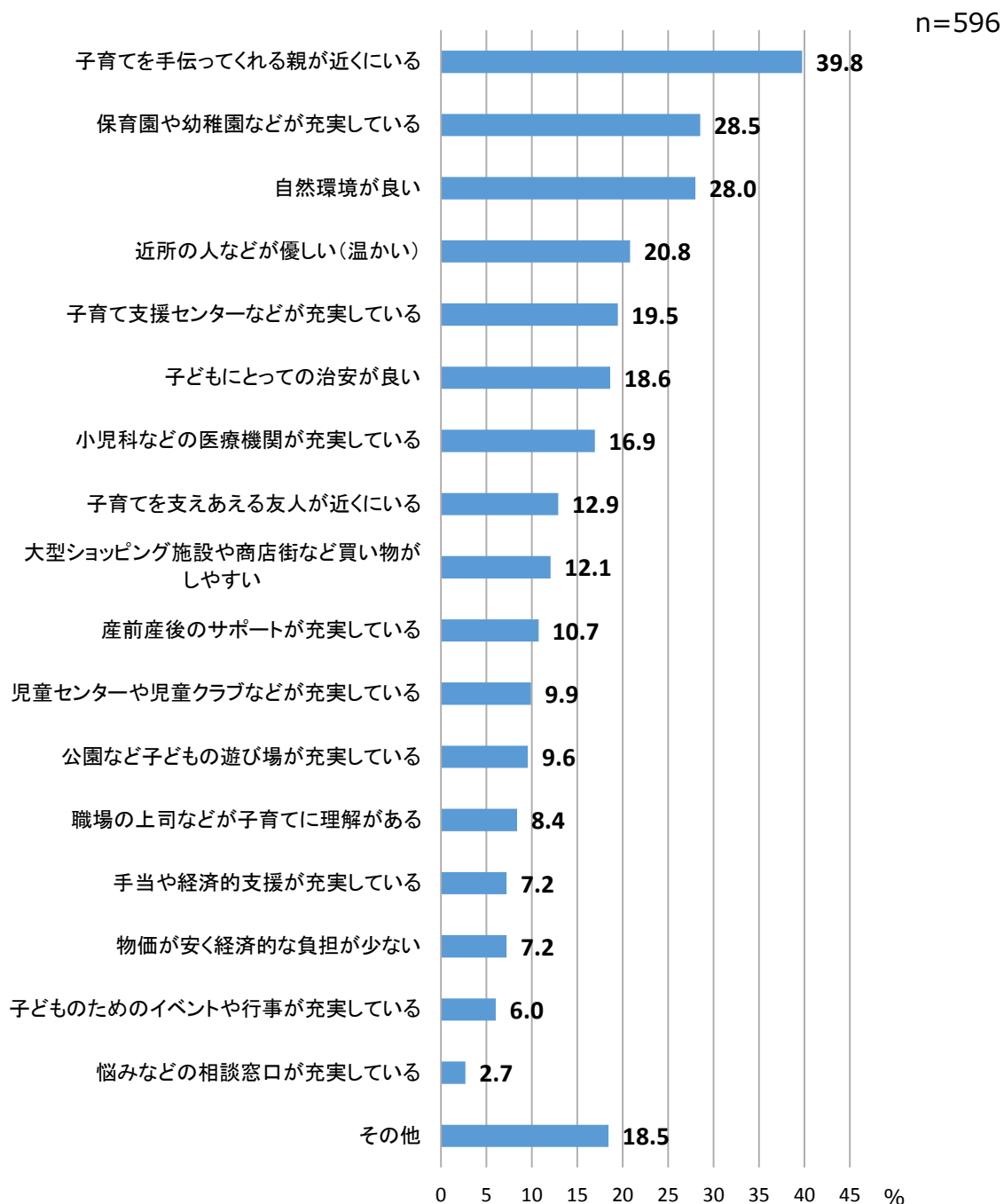
「佐世保市の合計特殊出生率が高いことを知っているか」については、81.4%が「知らない」と回答しており、全国や長崎県と比較して合計特殊出生率が高いことを知らない方が8割以上となっていることがわかりました。

n=596



**問29 佐世保市において、合計特殊出生率が高いのはなぜだと思いますか？あなた自身のご家庭や周りの状況を考えた時に理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。  
（※当てはまるものすべて）**

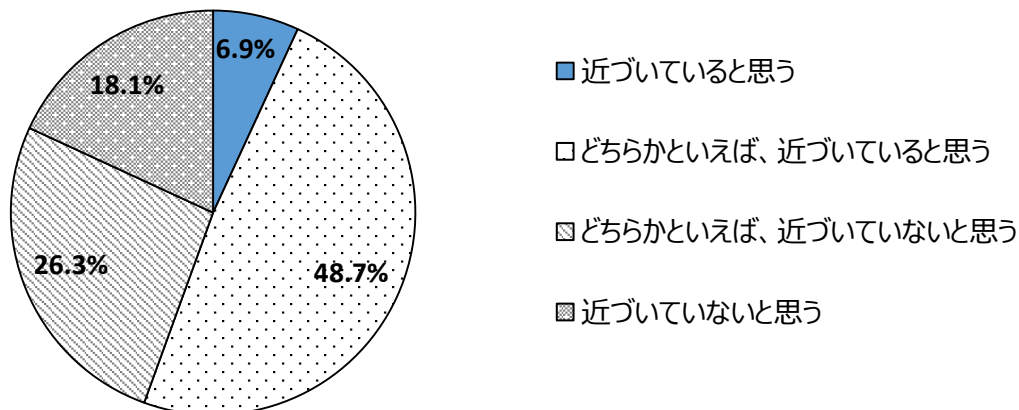
「佐世保市の合計特殊出生率が高い理由として考えられるもの」については、「子育てを手伝ってくれる親が近くにいる」が39.8%と最も多く、次いで、「保育園や幼稚園などが充実している」が28.5%、「自然環境が良い」が28.0%、「近所の人などが優しい（温かい）」が20.8%と上位になっています。



### 問30 佐世保市は子どもを「産みやすい」街に近づいていると思いますか？

「佐世保市が子どもを「産みやすい」街に近づいているか」については、「近づいていると思う」が6.9%、「どちらかといえば、近づいていると思う」が48.7%と答えており、55.6%の方が「産みやすい街」に近づいていると思っていることがわかりました。

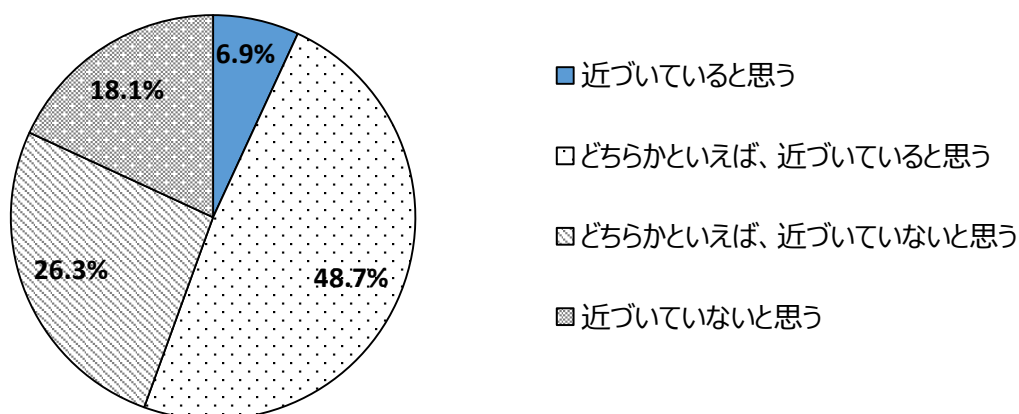
n=596



### 問31 佐世保市は子どもを「育てやすい」街に近づいていると思いますか？

「佐世保市が子どもを「育てやすい」街に近づいているか」についても、「近づいていると思う」が6.9%、「どちらかといえば、近づいていると思う」が48.7%と答えており、55.6%の方が「育てやすい街」に近づいていると思っていることがわかりました。

n=596



## ■ その他の自由記載（一部抜粋）

問11 「2人目の壁」を感じる理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。

（※あてはまるもの全て）

問10で「ためらいを感じる～」または「ややためらいを感じる～」を選んだ方にお尋ねします。

### ● 経済的理由に関するもの

- ・ 特に保育料の負担が重たい。
- ・ 主に経済や、子育て支援の面で他の市町村と比べかなり劣っていると思う。
- ・ 日本の場合は、子どもが増えれば増えるほど、支出が大きくなる。しかし、サラリーマンの場合、収入が大きく増えることは見込めない。そのため、日々の生活や子どもを全員大学に通わせることまで考えると、意識的に子作りをする気になれない。実態として子どもを増やして生計を維持しながら、教育まで考えるなら、祖父・祖母の財政的支援がないとなかなか難しいと思う。
- ・ 不妊治療で子供(3才未満)を保育園に預けたくても治療の為に妻を働かせれないので、預けれない。治療費が莫大(助成金有っても貯金を使い果たす為)一時保育もためらってしまった。
- ・ 不妊治療をしないと授からないため、市の補助などが他の市よりも少なすぎる。
- ・ 産休に入ると手当が出ない間無給になり、上の子の保育園料金が安く感じるため、二人目三人目がほしくても生活していけない。
- ・ 産院が少ない出産費用を無料にしてほしい！チケットは助かるが、エコー代など検診にお金がかかる
- ・ 私もそうでしたが2人目よりもほとんどの方は3人目の壁を感じるとよく耳にします。保育料が3人在園中でないと無料にならないことが、大きな理由でした。同じ3人目なのに、不平等に感じましたし、そんなに続けて3人を出産すると社会復帰が難しく、度々育休ですし、ハイペースで、五年ぐらいは妊娠、出産、授乳の世界に入り、母親のストレスも負担がかかる出産ペースです。
- ・ 私は出来れば最低3人希望。でも、旦那が躊躇してる。自営(農業)で毎年年収がバラバラで特に去年、今年と不作で保育料、税金関係で旦那がためらってるのが事実。特に税金が高くつく年に不作が重なると1番厳しいのが現状。農業は毎年決まった収量や金額がバラバラなので安定してない。あと、児童手当が3歳から金額がすぐ変わるのに保育料は年度を待たないと下がらないので正直きついです。

### ● 家庭環境に関するもの

- ・ つわりや産後のつらさ
- ・ 一人目出産してから10年以上、月日が経っていたので。
- ・ 夫の子どもを増やすことへの考えの相違
- ・ 旦那が仕事上ほとんど家にいない、実家も近くなく、ほぼ1人で子どもをみないといけないから自分のできるのか不安だった。
- ・ 旦那の家族との同居
- ・ 母や義母への協力が年齢的、体力的に無理と感じたから。

- ・ 障害をもつ兄弟がいて、夫が不在がちなので、不安が大きかった。
- ・ 母親の私が発達障害を持っており、育児ノイローゼでトラブルを起こした事で家族の方から反対され、中絶してしまった。
- ・ お金の面もそうだが、1人目の子に手がかかり、2人目は自然に妊娠、出産出来たが、手いっぱいになり、3人目は色々考えてなかなか作れなかった…子供の成長と共に、社会復帰も考え、タイミングを逃す…  
1人目の子が発達障害と分かり、タイミングを逃す…対応の仕方が分かってきた今、3人目を望むが、なかなか授からない…
- ・ 妊娠、出産により、環境の変化、体力的、精神的に負担になる事があり、苦に感じる事が無いとは言えず、第一子での子育てに加え、子供が増えることへの不安もあるとおもう。昔より公共の援助が増えたりしていることもわかるが、家で毎日子育てに専念するのは結局自分自身だから、負担を感じることがあるとおもう。そのなかで、佐世保は配偶者が単身赴任や仕事で家を空けるかたが多く、一人で子育てをしていると強く感じると思う。
- ・ 出産する際、上の子の面倒を見てくれる人がいない。産後もサポートしてくれる人がいない。発達障害の子供をサポートしてくれる学校がない。親が安心できる学校を作してほしい。
- ・ 1人目を出産し母親となったとき、それまでの自由な1人での行動ができなくなった、仕事も友人と会うのも自由がなくなった、としばらく感じていました。  
夫は仕事の余暇に1人の趣味の時間を充実させていて、子育てにも家事にも私がして当然、というところがあり、自分の、自由にならない不安をぶつけても理解してくれる様子はなくて。  
このまま2人目を授かればどうなるのだろう、とっていました。仕事も育児休暇で在籍していたため、余計に2人目がきたら仕事に戻れないだろうと葛藤がありました。  
ですが娘が2歳を過ぎた頃、気持ちに余裕ができたからか、たまたま授かり、純粋に嬉しくて、余計な不安よりも、今の子どもと過ごせる時間を幸せを味わおう、と思えるようになりました。  
今は2人の子ども達と一緒にいるのが、楽しくてたまりません。
- ・ PTA、役員活動、育成会などが大変。3人分だと3倍

### ● 子育てと仕事の両立に関するもの

- ・ 1人目を保育園に預けている場合、2人目の育児休暇を1歳の誕生日までしか取得できないため、確実に保育園に入れそうな時期（年度の前半）に出産するようにしなければならないこと。
- ・ 年度途中の保育園の入園が困難、産前産後の入園さえ困難な状況、保育料が高い、職場の人手不足による産休育休の取りにくさ・休みにくい雰囲気
- ・ 仕事につく時、子供がいると休みやすいところではしか働けない。小さな子供がいることで良い顔をされない。保育園の空きがない。
- ・ 出産後の妻の体調不良により、子育てをメインでやっているのに、職場での理解度が全くない。
- ・ 妊活に対する職場組織の理解のなさ(育休明けすぐに人事異動させるなど)

- ・二人目を産む事に対するためらいでは、色んな理由がかさなる部分が大いいます。二人目欲しいけど、パートだから産休育休は無い、産んでも保育料は半額、上の子と合わせればすごい金額になり何の為に働いているのか分からなくなる。子供に優しく接する事が出来るのも自分に余裕がないと出来ない。週5で働き土日祝日休みでも、育児は365日。せめて土曜日預けて半日でも自分の時間がもてたらって思い幼稚園をお願いしても親御さんがお休みの時はお家で…と言われ自分の時間出来ない。子供が熱で休みをお願いする時もあまりいい顔はされず、世の中は子育て世代を応援してる！って言うが、なかなか浸透しておらず働きにくい時もある。  
二人目から保育料無料や土曜日も遠慮なくお母さんのリフレッシュって事で預けて下さい！ってスタンスなら二人目欲しいってなるって思います！
- ・実家が佐世保市にない場合、上の子の保育環境に不安を感じる事が多く、負担が大きい。現在、1人目を保育園に預けて2人目を妊娠中ですが、保育所では朝から上の子の体温を親が測ったり、保育所に着いてからしなければならぬ事が多く、その側で保育士は雑談中。本来は保育士の仕事では？と思うような事を親がしていて妊娠中の送迎の負担すら大きい。佐世保市に実家がなく親が居なくても子育てしやすい環境&環境の改善をお願いしたいです。2人目を妊娠してから気付きました。
- ・下の子が保育園に預けられるか不安。自分が保育士なので、早い復帰を求められそうで、仕事の両立の不安。子どもが体調崩しても休みにくい。収入は変わらないのに保育料が上がりこれからも上がり続ける不安、これ以上保育料を払う余裕がないから兄弟は無理。

**問13 1人目のお子さんを持つことにためらいを感じる理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。（※あてはまるもの全て）**

問12で「ためらいを感じた」「ややためらいを感じた」を選んだ方にお尋ねします。

● **家庭環境に関するもの**

- ・自分自身の親の協力が見込めない為。
- ・両親が遠方、仕事もしているため助けてくれる人がいない。大丈夫か不安に思った。

● **子育てと仕事の両立に関するもの**

- ・仕事との両立が難しい。男性が子育てをしなければいけないという条例がない限り今後も変わらない。
- ・男性不妊に対する知識不足及び職場の理解不足。  
治療の為に転職を余儀無くされ、治療が出来る職場に転職出来ても年収が下がる、治療が出来る状態になるまで時間がかかり、かなりためらった。

**問18 あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）ことを次の中から選んでください。（※当てはまるもの全て）フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。**

● **経済的理由に関するもの**

- ・育休を取得したが、育児休業手当金が満1歳までしか支給されないため、家計の都合上1年で育休を終了せざるをえなかった。

- ・休業中に収入が減るので、家計が苦しい為、短期間しか休めない。

### ● 家庭環境に関するもの

- ・お産がきついため。二人とも難産だったので。
- ・家族や親せきの中でも、女性が子育てすべきという考え方がある。
- ・やはり旦那の理解。自営なので産休育休はないですが子供が風邪で休みの時の旦那の対応が悪い。何故か私のせいにされる。夫婦2人なので子供の心配も多少はあっても結局自分が1番な人なので自分がきつい、一人で出来る事もだらだら文句をいう。だから、病後児保育に預けるとしたら反対される。病院行くのも億劫になる。なので事前に言う事が増えた。まず、仕事の段取りを聞いてから行っていいか聞く。それがストレスになる。

### ● 職場環境に関するもの

- ・育休をとるならやめろという雰囲気。実際、産休しか取れなかった。
- ・事業主から、育休をとるという事は他の従業員に迷惑をかける事。育休を取るまでに、みんなの分の仕事もしなさいと言われ、妊娠初期に無理して休日出勤をして流産しそうになった。
- ・20代・30代で男が産休・育休をとることに世間的にも職場的にも、自分の感覚でも抵抗を感じる。特に忙しい職場はそれが顕著に出ていると思う。
- ・子育ては女性が行うのが基本だという考え方があるので、仮に妻が体調不良であっても、早く帰ると仕事をサボっているという評価をされる。勤務評価に子育てに取り組んだかを入れないと変わらない。両親も高齢で寝たきりであり、妻も体調不良なので、育休の相談を上司にしたが、3日だけ休んでよいと言われた。これでは子供が生まれた方が悪いと感じてしまう。産後は体調不良が当たり前だと個体差を認めてくれない。東京ではこんな事はなかったのに、こんな市では子育てしにくいとみんな言っている。意識改革のための取り組みを力強く取り組んで欲しい。
- ・一人が受け持つ仕事量が多く、職場に与える影響が大きすぎる心配があった。
- ・仕事が滞る。予定通り休みにくい。休暇が時間単位でとれない。
- ・病欠などが増えるため、休まないといけない状況に対して休みづらい。
- ・産前産後の休暇中は、当てつけの様に人員の補充がなく職場にかなりの負担がかかるので、申し訳なく感じる。
- ・産休育休の時だけ、人を雇うのが難しい。限られた人数で、特殊な仕事をしているため、育休から復帰するときに、雇われた人がやっと一人前になる状況。そこで、辞めてもらうこととなるのが申し訳ないし、産休育休の短い期間だけ働きたい人なんて、中々いない。育児と仕事の両立をするなら、大きな組織で働き、直ぐに交代(異動)が可能な仕事を選択すべきだと思った。
- ・保育士なので、保護者の目も気になる。年度途中での育休に入ること担任がかわるから、特に年長を持つと気になる。
- ・ギリギリの人数なので、産休育休が取りづらく、一年間取れるところ、5ヶ月で復帰になった。復帰のときは、引き裂かれる思いだった。もっとゆっくり取りたかった。

- ・産休育休取りやすい職場であったが、臨時採用の立場だったので、妊娠初期に切迫流産で動きが制限されて、明らかに迷惑がかかっていたので任期途中で退職することを促されました。

#### ● 制度に関するもの

- ・パートでも、産休、育休をしっかりと浸透させてもらいたい。
- ・産休中の収入が一切なく手当が入っても産休あけて復帰してからしか入らなかったため旦那さまの収入だけではまかなえなかったため産休中の手当のしくみを見直して欲しい！と感じた。
- ・単年契約の仕事のため、年度末に産休育休が絡むと翌年の契約更新の保証がないこと。
- ・サービス業のため日曜日の学童保育が近所がないこと。保育園は自宅近くに休日保育があるのでよかったのですが…
- ・保育園が上の子を土曜は預かってくれないことと保育研修の為、産休中、育休中なんだから休ませるんだよねという対応や態度が一番嫌でした。3人目は持ちたくないと思うようになりました。
- ・そもそも育児休暇を取れる会社が佐世保市には少ない。
- ・復帰時期によっては希望の保育園に入れないことがあるので、育休を早めに切り上げた。いつでも保育園に入れるのなら、もう少し長い期間育児取得予定だった。

#### ● キャリアに関するもの

- ・職場に限らず、社会の情報が入らない不安があったので休むことを長くしたくないと思った。
- ・職場復帰後に自分自身の仕事に対するモチベーションと能力・体力を休職前と同程度に高めていけるのが不安要素としてあります。
- ・仕事柄(医療)一年ぶりに復帰するときに少し怖い感じがあった。
- ・1人め育休明けすぐに人事異動させるなど、勤務する母親への配慮のなさ。
- ・復帰後、以前とは違う勤務地や部署に異動になる可能性がある。
- ・復帰したとき、体力的なこともあり仕事を軽減してもらって、徐々にならしていったが、替わりに雇った従業員もいて、仕事が減り居場所がないように感じる。

**問19** あなたが育休を取得するときに、重要だと感じる理想の条件を次の中から選んでください。  
(3こまで) フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。

#### ● 職場の風土に関するもの

- ・育休をとるならやめろ等の発言がある。
- ・産休、育休をきっちり取る事が悪い事、周りに迷惑をかける事だと事業主や従業員が思わない環境
- ・男性でも育休が取れるという風潮づくり



- ・ 会社は育休を取得させないと罰則がある。義務化など。本人の事情で早く復帰するなどの理由があれば別だが、そういう場合でも会社は理由を報告しないとイケないくらい、育休取得に強制力を持たせてほしい。実際は取得しにくい雰囲気であり、就業規則にあるだけでは取得しにくい。
- ・ 産前産後だけが育児休暇ではないと思います。妊娠発覚して、すぐにつわり。このつわりに対して理解がない環境も多い。つわり時期にも一度は妊娠休暇を頂けたら辞めなくて済むものという声も多々あります。
- ・ 育休から復帰した場合、短時間勤務が選択できると助かります。（制度としてはありますが、実際には選択できない（できる雰囲気ではない。））

### ● 職場の体制に関するもの

- ・ 育休職員が出て、その代替職員の配置などは難しく、自分が育休を取れば、結果的に他の職員にしわ寄せが来て、職場に迷惑をかけるかと思ってしまう。育休取得職員のいる職場では他の職員の過重負担が生じないような措置が必要です。でも、現実的には難しいのですね。
- ・ 職場に人が少ない場合は、育休を取った人の代わりに臨時的に人員配置がされる。育休がない職場でも、育休を取った人の仕事はみんな支えていくと張り紙をする。毎日放送する。復唱させる。意識を変えるには、毎日目にして、耳にして、口ずさむしかない。
- ・ 男の場合、職場が育休取得を許さないまた、人員不足の為、言える状況では無いので、経営陣に対する教育を行おうと状況は変わらないのが殆ど、罰則を含む法が出来ないと何も変わらないと感じる。
- ・ よく考えられたフレックスタイム制で、その導入でも可能な仕事であれば何とかかなると思う。

### ● 経済的支援に関するもの

- ・ 育休中の給料補償など金銭的な補助制度があること。
- ・ 育児休業手当金支給期間の延長
- ・ パートタイム勤務でも条件がなく産休手当がもらえる。
- ・ 育休を与えた雇用主側にも何らかのメリットを与えてほしい。そうすれば気兼ねなく育休が取れる。
- ・ 低所得のパートタイマーや自営業者には、国や市町村から育休手当が出る。
- ・ 給料が少なくなるため、そのサポートが、ほしい。
- ・ 保育料が9月から半端なく上がったことが家計をかなり圧迫しているので、保育料 あまり高く上がらない事が大切な条件です。

### ● 子どもの預けやすさに関するもの

- ・ フルタイム勤務ママは優先に保育園に入れるようにしてほしい。保育園に入れないと、育休中に雇われた人を勤務延長となり、雇い主側負担となる。勤務延長とならなかつたら、他の職員の負担となる。そうなると復帰しづらい。
- ・ 2人目の育休中に1人目を保育所へ預けることができる。
- ・ 病気や、当直の際の夜間の預かり先があるか。保育料金が増えないか。

**問20** あなたが育休から復帰する際や復帰した後に、重要だと感じる理想の条件を次のなかから選んでください。（3こまで）フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママ、働くパパにお尋ねします。

● **職場の風土に関するもの**

- ・ その部署のトップの意識改革はもちろん、その部署の職員の意識啓発を積極的に行い、職員全員で子育て世代のお父さん、お母さんをサポートするような風潮を作る。
- ・ 今まで休んだ分をしっかり働け。と無理強いされない職場。みんなが心の中で思わない職場。頑張りますと無理やり言われる職場。俺が若い頃は子育てせずに仕事をバリバリやったと、子育てしなかった自慢をされない職場。

● **職場の体制に関するもの**

- ・ 子供が病気の時主人の方も迎えに行けるようにできる会社
- ・ 関係ない内容だけけど…子供の看護、行事で休みをとると他の職員に迷惑がかかる。時短もしたいが、それも残った職員に迷惑がかかる。人に迷惑をまでかけてまで休めない。休める人は、事務職員など別の人でもできる職務の人たちだと思う。技術を持った人材はそうはいかない。
- ・ 子供を背負いながら（子供の世話をしながら）の仕事が認められる。
- ・ 育休後に慣れた部署に戻れる。

● **子どもの預けやすさに関するもの**

- ・ 保活はとてもストレスになる。1年が経つ頃にどの保育園が空いている等情報提供や保活の支援を市の方から積極的にしてほしい。本当は迷惑をかけないように仕事をしたいので病児保育制度を充実させてほしい。たまの休みであれば負担にならないが子供の感染症での長期休みは経済的にも精神的にも負担が大きい。保育園はまだいいが学童がなくて困っている。日宇小学校区は学童がなく今は福石地区にお願いしている。
- ・ 上の子と下の子が同じ保育園に預けられる。上の子と下の子の参観日がバラバラじゃないこと。
- ・ 保育園の充実。増えない限り子供を預けられないし仕事復帰が厳しい。

**問21** 2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけについて、理由として当てはまるものを、次の中から選んでください。（※あてはまるもの全て）お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。

- ・ 年の近い兄弟を作りたいともともと考えていた。
- ・ いつか持ちたいと思っていて、授かった。授かろうとしたり、計画したわけではない。
- ・ 兄弟が居た方が子供の為に良いのと、治療費に目処がついた為。
- ・ 最初が男の子だったので次は女の子が欲しくて。
- ・ 欲しかったから。
- ・ 夫婦間で3人目を悩んでいたが、子供2人が赤ちゃんが欲しいと望んでくれた事もあり、踏ん切りがついた。今では、いつ授かってもイイと思っている。

- ・ 育休中に二人目以降を授からないと、仕事復帰から産休に入るまで時間を空けないといけなくなると思ったから。
- ・ 一人目の子どもが、自分のことをできるようになってきたため。
- ・ 自分達の老後に子供1人では不安があったから。

**問22 2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思うことは何ですか？（※あてはまるもの全て）  
お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。**

- ・ 子供を産んで育てる幸せを感じたから。
- ・ 色々な事に配慮する考える事を学んだ。
- ・ 成長を見るのが楽しい。
- ・ 親と子という関係ではなく、子供同士のコミュニケーションで遊ぶ場面をみて、素敵と感じた。
- ・ きょうだいであっても違う人格の子どもを育てることで学ぶことがたくさんあった。
- ・ 子どもが、人間関係、社会性が一人よりも育つ。
- ・ なかなか2人目ができず治療してやっとできた。上の子ども兄弟ができたことを喜んでお世話したり一緒に遊んでいた。
- ・ 子供の成長と共に私達は老いていくので、将来を考えると、相談し支え合える姉妹がいるのは良かったと思う。
- ・ 世の中の状況がどうであれ、3人の子を持つ事が見えていたからというか、ずっともう1人待っていてくれると思って居たから。これで良かった。経済的には2人だったんだろうけど、なんとかするしかないです。
- ・ 手伝いや下の子の世話を兄弟でしてくれるようになり、家事育児の負担が減った。
- ・ 少子高齢化対策に貢献できた。

**問25 出産・育児について情報を知りたいときに頼りにしている（頼りになった）ものすべてを、次の中から選んでください。（※当てはまるものすべて）**

- ・ 知り合いの助産師さん。年輩の友人、育児経験のある知り合いの女性。実母、義母
- ・ こすもす母乳育児相談室
- ・ ウイメンズ
- ・ 七田式
- ・ 横須賀は子育ての環境整ってました。佐世保も見習ってほしい。

- ・二人の育児にとっても悩み、ストレスを抱えていました。佐世保市は産前産後のケアはできていても子供が2、3歳以降になってからの頼りになる窓口がないからです。広場に行っても慣れないとなかなか悩みは話せません。子供が話始めてどう接していいかわからず育児放棄したくなったとき「マザーズコーチング」に出会いました。子供との会話の仕方や考え方を教えてくれる講座です。佐世保市で三歳半検診などでお母様方に導入すべきだと思います。子供とどう接していいかわからず苦労している方もたくさんいます。特に2、3歳はイヤイヤ期です。子供の発育だけでなくお母様方にもそうした講座があると助かるし、私はまたもう一人産んでも大丈夫という自信ができました。ぜひ導入をお願い致します。

**問29 佐世保市において、合計特殊出生率が高いのはなぜだと思いますか？あなた自身のご家庭や周りの状況を考えた時に理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。**

**(※当てはまるものすべて)**

● **自衛隊等に関するもの**

- ・自衛隊とかで専業主婦（パートバイト含む）が多いから。
- ・自衛隊等の通勤族が多いため、一概に佐世保が出生率が高いと思わない。
- ・自衛隊、米軍があるから。若者が全国から集まってくるから多いし。子供を作るためには安定した収入、仕事だし。結局公務員を増やすことが子供が増えることにつながると思う。
- ・自衛隊の街だから、お金の余裕がある家庭が多く、子供も2人以上持つ家庭が多いからではないですか？私の周りで子供が2人以上の家庭は、ほぼ陸上自衛隊、海上自衛隊、他の公務員さんです。
- ・自衛隊の基地が多いというところで、子育て世代が多く住んでるからだけだと思います。歩いて行けるところに公園もなく毎日遊ぶ所がなくて困ってます。遊ぶところは少ないし、ショッピングするところなんてイオンか五番街で少ないし、支援センターは古くて駐車場は激狭で子供の乗り降りや、妊婦の乗り降りにとても優しいとは思えない。近所の気軽に遊べる公園の充実、大型遊具がある大きな公園、支援センターの施設や駐車場の充実、手当で経済的支援の充実をお願いしたいです。子育て世代が多い街だからこそ、もっと多方面の充実をお願いしたいです。
- ・規模の大きい陸・海自衛隊の関係で出生率が高いだけだと思います。上記の項目に該当するものが一つもありません。他県からきた人は、佐世保は住みにくい、子育てしにくいと言われています。佐世保に家を建てるのはムリだとみんな言っています。長崎県人の私でも、佐世保に引っ越し4年目で子育てしていますが他の市の方が住みやすいです。広報・テレビで観光に力を入れている場面を観るたび、子育ての充実は？と残念に思っています。
- ・自衛隊や公務員など所得の高い県外からの移住者が多いためだと思う。後先考えず、子どもをつくり、育てている家庭環境の人間も多い感じがする。フルタイムで働く母親が多く、学童に通う子どもたちが多いのはそのためなのではないか。

● **家庭環境に関するもの**

- ・女性の意思が強い。（シングルも多いのでは？）
- ・周りに子たくさんママが多い。

- ・ 出生に関して計画性がないから。
- ・ 予定外妊娠も多いのでは？
- ・ 全然すべて充実していると思わない。ただ、夫婦で子供が欲しいからだと思う。公共機関が充実しているから産もうなんて思わない。
- ・ 地元の方が多く、実家のサポートがある方の子沢山率が高い。それにつられて転入組も、予定より多く子供が欲しくなる。（我が家も希望があったが、経済的に断念）
- ・ 私の周りを見てみると、奥さんの実家が近くにある。お父さんの稼ぎが高いと子どもの兄弟の数が多い。お父さんの家事、育児などが協力的だと子どもの兄弟数が多い。佐世保は子ども3,4人のご家庭が珍しくない気がします。
- ・ 自分自身は近くに頼れる家族が全く居ないが、周りの3人以上お子さんのいる人達を見ていると、子どもを預けられる親等が居て羨ましく感じる。自分自身もそういう環境に居たら3人目も考えたかもしれない。

#### ● 地域環境に関するもの

- ・ 決して充実しているとは思わないが、限られた環境で、多くを望まない幸せな人々が多いのでは？長崎県は人柄がいいのだと思う。
- ・ 子供の教育等にお金をかけようと思っている人が少ないから。娯楽が少なく、興味がそれないため、子供を産む年齢が平均すると比較的若い。長崎市の子育て支援に比べると劣っている。
- ・ 収入も少なく、出かける所もないし、行けないからだと思います。長崎や諫早、大村のように無料で1日飽きずに遊べるようなところを作ってほしいです。
- ・ キャリアを積んで独身や子を持たない方の多くは県外の都会へ出てしまっている現状も関係していると思う。（49歳までの女性の環境の違い）
- ・ 仕事を持つ母親が、都会よりは少ない気がする。
- ・ 昔から子どもをたくさん持つ地域があるらしい(4人以上)。
- ・ ワタシの周りに4人育児の友達が多いから。友達がいたら、出来る気がする。
- ・ 若いうちに生んでいるから。
- ・ 同年代で結婚出産している人たちが多から、自然とそうするものなんだという意識が持てたんだろうなど、佐世保育ちの夫を見てると思います。
- ・ 結婚したら子どもができる、子どもは複数人数という固定観念を持っている方が多いように感じます。市のサービスはホームページは見たい情報にたどり着けないことが多いです。

・ 江迎地区に限定すると、地区公民館（図書館あり）での子育てイベントや教室（乳幼児期～中学生向け）、保育園・幼稚園の園解放、地域の行事が充実して子ども（と親）の居場所が多いです。距離的にも保育園・幼稚園・小学校・学童が近くて集中しているため、親が働いていても学童などから子どもだけで通えるので、安心です。  
地域の方が様々な分野（お話宅配便など）で熱心に活動されているので、時々子育ての相談をさせて頂いたりして心強いです。子育てしやすい町だと思います。

・ 昔からの風土や雇用の多さ（有効求人倍率の高さ）も関係しているのでは。地元で働くことができれば、親が子供の面倒を見てくれるため、出産への志向も高まることが期待されるため。なお、統計についてですが、人口の多い大都市で率が極端に低いため、地方の長崎が平均より高くなるのは当然のことでは。また、県内では長崎市より高いようですが、他市で佐世保市より高いところもあるのでは。佐世保市が突出して高いと言えるのでしょうか。